



くすりと健康

● 神戸市薬剤師会 ●

薬は飲み続けていいの？

血圧の薬を飲み始めるとやめられなくなるから飲みたくない、という方が時々いらつしゃいます。どうやら習慣性があると勘違いされているようです。

今回は、この誤解を解いていきたいと思います。

■ 習慣性って？

「習慣性のある薬」とは、服用し始めると薬に依存してしまい、薬がないと心理的、または身体的に変調をきたす薬のことです。

習慣性のある薬といえば睡眠薬のイメージがありますが、その睡眠薬も、現在では習慣性があるとはいえず、なくなってきました。かつて使用されていたバルビツール酸系の睡眠薬には、「依存性が強くてなかなかやめられなくなる」といった問題点がありました。現在、主として使用

されているベンゾジアゼピン系の睡眠薬は、長期間飲み続けても、飲まずにいらなくなるような習慣性はなく、医師の指導の下であれば安全に使用することができます。

■ 血圧の薬は習慣性がある？

高血圧の薬に習慣性があると勘違いされるのは、一度飲み始めると中止できないと思われているからでしょう。しかし、問題があるのは血圧の薬ではなく、薬を飲み続けなければならぬ自分の体にあります。

高血圧の薬は、血管に負担をかける、脳卒中・心不全などの原因になるため、血圧を下げる必要があるとドクターが判断して飲み始めます。高血圧は長年続く病気ですが、薬は飲んでいる間しか効果がありません。そのため、薬で血圧が下がっても、中断すると「元に戻ってしまう」ことから、飲み続けた方が良いのです。

■ 中止できることもある？

血圧の薬を開始するときは、必要

かどうかを十分検討した上で開始するので、すぐに中止になることはほとんどありません。しかし、長期間観察すると、血圧の薬が減量できたり、時には中止できることが知られています。

そのためには、生活習慣の改善が大切です。血圧の薬を飲んでいながらといって、合併症の起こる危険性が低下したわけではありません。塩分を控えたり、適度の運動、減量、禁煙など、生活習慣の改善を生涯にわたって行っていきましょう。

■ 他の薬について

薬はそれぞれ意味があつて処方されていますが、長く服用を続けていて気になる場合は、納得して治療を続けるためにも、かかりつけの医師や薬剤師に相談して、薬を続ける意味を聞いたり、やめることができないかについて相談してみたいかがでしょう。